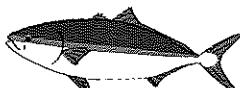


TCSW ニュース
 (Toyama Certified Social
 Workers' News)

アリ
鮭あこし



(No. 98)

発行：一般社団法人 富山県社会福祉士会
 編集：富山県社会福祉士会

〒939-0341 射水市三ヶ 579 富山福祉短期大学
 1号館1F内
 TEL/FAX 0766-55-5572
 MAIL toyama.csv@gmail.com

発行月日：2019年 12月 25日
 富山県社会福祉士会ホームページ
www.toyama-csw.org

CONTENTS

- 副会長 あいさつ
- 新理事 あいさつ
- 研修報告① ソーシャルワーク研修報告
- 研修報告②2019年度基礎研修Ⅰ研修報告
- リレー通信

- | | |
|------|--------|
| 副会長 | 中山 光明 |
| 理事 | 永野 美江 |
| 会員 | 藤田 麻美 |
| 担当理事 | 北滝 めぐみ |
| 会員 | 長守 信子 |



副会長 長寿苑 中山 光明

令和元年もあと残り僅かとなっていました。令和初めての年は、皆さんにとっていかがでしたでしょうか。昨今、巷では少子高齢社会が問題となり、65歳以上の人口比率が団塊の世代が加わると2025年に、40%を超えると言われています。

核家族化が進み、高齢者二人住まい又は独り住まいが増え、所得の格差では二極化が進んでいます。又、子供を持つ人は1.4人と減少しており、晩婚があり、結婚そのものを選択しない若者も増えているとの事でした。テレビ新聞等では、正しい事、正義を振りかざし他者を糾弾する事が増えているように感じます。以前、昭和において大きな戦争が正義と言われ、ハンセン病問題、高度成長期には公害や水俣問題、その時、その時代の正しい事、正義だと教えられた事が歪みを見せている事も少なくありません。

私たちソーシャルワークに携わる者は、時代の物差しや個人の尺度で、その方法や対象者に左右されず、支援していかなければならぬと、日々思っています。

富山県社会福祉士会では今年度も成年後見、スクールソーシャルワーク、障害者や8050問題依存症の問題等、様々なアプローチで講演会や研修会を行ってきました。

新しい年に向け、今後ますます要支援者を想い、寄り添うソーシャルワーカーとして皆様と一緒に行動していきたいと思います。



ケアマネジメント高岡

永野 美江

今年度新しく理事になりました。総務委員会では広報を担当しております。皆さま宜しくお願いします。さて、2020年東京オリンピック開催も来年に迫りました。前回の東京オリンピック当時、私は3歳。当時のマラソンコースは国立競技場から国道20号甲州街道へ、調布市で折り返すというコースでした。実家は古くから文房具店を営んでおり、甲州街道沿いの店舗は、マラソンの絶好の観覧場所でした。私は、親戚の子ども達に交じって応援の旗を作ろうと、さっそく画用紙に日の丸を赤いクレヨンで丸く書き、持ち手の割りばしに糊で接着しようと試みましたが、硬い画用紙は割りばしにはくっつきません。どうやら親戚の子らは半紙に日の丸を描いていたようです。糊でべとべとになった旗を、苦労してセロハンテープで割りばしに貼り付け、店の二階に駆け上がった頃には、マラソンランナーは店の前の道路をとっくに駆け抜けていました。

鯉おこしでは随時原稿を募集しています。よろしくお願いします。

研修報告

2019年度基礎研修Ⅰ

生涯研修委員 担当理事 北滝 めぐみ

3年間にわたる基礎研修の第一歩、基礎研修Ⅰが今年もスタートしました。10月12日に県民会館に集まったのは19名の多職種の皆さん。今年の特色は会長や担当理事に加え、有志2名の研修委員が講義やファシリテーターを務めたところもあります。基礎Ⅲまで終了した先輩からは、リアルな体験談も聞けたのではないでしょうか。(基礎研修を終えたらぜひ研修委員に仲間入りしてください!)

基礎Ⅰの内容は、「社会福祉士会のあゆみ」「日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の基礎」「生涯研修制度」についての各講義と、演習「日本社会福祉士会の専門性について考える」です。社会福祉士が働く現場は様々ですが、どのような業務であっても私たちには共通する専門性があります。自分が大切にしていること、目指すことを言葉にし、可視化していく作業を協働して進める中で、社会福祉士としての自分を再確認し、また基礎研修の同期として仲間意識を育んでいかれるみなさんの様子が印象的でした。



一つ残念だったのは、台風のため懇親会が中止となってしまったこと。基礎研のOBさん達からも出席の希望をいただき、富山県社会福祉士会をより身近な所属団体を感じていただけるような場を作りたかったのですが、お天気には勝てません。次の機会にはぜひまた気軽な会員交流の場として参加していただけたらと思います。

社士会の研修の海に乗り出した皆さん。次回は2月、私たち社会福祉士の基礎である倫理綱領を自分の中に取り込む演習などが待っています。忙しい業務の合間に課題に取り組むのは大変ですが、学びの喜びや達成感も味わっておられるのではないかでしょうか。自らのキャリアデザインを描き、仲間と共に荒波を乗り切っていきましょう。スタッフもできる限りサポートしていきます。

ソーシャルワーク研修に参加して

社会福祉法人上市町社会福祉協議会 藤田 麻美

今回、ひきこもり家族自助会とやま大地の会代表の山岡和夫さんのお話を聴き、当事者や家族が安心して集える居場所の大切さを改めて感じることができました。

大地の会では、月例会と会報「花無心」の発行を欠かさず行っており、地道で丁寧な活動が、参加者の安心できるあたたかな居場所の土台になっていると感じました。

家族自助会の存在は、ひきこもっている子どもに対して疲弊している親が悩みを共有し、自分だけではなかったと気付きます。当事者の意見を知ることで子どもの苦しさを知り、認めていくことで接し方も変化していきます。その変化が子どもに伝わり、心を解きほぐすことにつながっていくと学びました。



また、当事者の声として「ひきこもっていたからこそ、今がある。ひきこもりは自分を救ってくれた」と紹介され、支援者だけではなく多くの人が、ひきこもりへの考え方を変えていかなければならぬと実感しました。山岡さんは、恩師から「事例をもちなさい」と言われ、多くの当事者・家族とのかかわりの中から、ひきこもりへの理解を深め、その方々に寄り添い続けておられます。私も、丁寧に個別支援に関わり、さまざまな気付きや学びを得て、相手の気持ちをさまざまな角度から想像し、寄り添える社会福祉士になりたいと感じることができた有意義な研修でした。

ぱあとなあ 富山

11月16日 フォローアップ研修 富山県教育文化会館

講師 富山家庭裁判所 上席裁判官 依田 吉人 氏

～社会福祉士・社会福祉士会に期待されること～

1. 診断書の書式の改定と本人情報シートの導入について
2. 成年被後見人等の権利制限の措置の見直し(欠格条項)
3. 利用者がメリットを実感できる制度・運用の改善に向けて

11月16日 事例研究会(ぱあとなあ担当) 富山県教育文化会館

12月20日 2019年度成年後見活用実務セミナー 自治労とやま会館

「地域共生社会の実現」のために専門職に求められる

権利擁護の在り方とは～成年後見制度が真に必要な制度となるために

講師 東洋大学社会福祉学科 教授 高山 直樹 氏

分科会：①成年後見制度申立て実務演習

：②富山県における成年後見制度利用促進の今後の方向性について

講師：富山家庭裁判所 上席裁判官 依田 吉人 氏

助言者：東洋大学社会福祉学科 教授 高山 直樹 氏

リレー通信 エッセイ

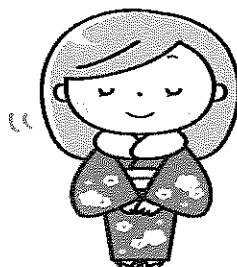
生きにくさを感じている女性たち I

ぱあとなあ富山 会員 長守 信子

私が相談員(婦人相談員)をしていたころにかかわった女性の話である。

相談員をやめた今でも、今度はただの相談相手として付き合っているので、もう20年以上の付き合いになる。年に2~3回ランチをしたり電話やlineで連絡を取り合ったりしている。相談の内容はほとんど人間関係の悩みである。その女性は40代、介護の仕事をしているが、どうもどこへ行っても仕事が長続きしない。そんな時、もともと通院

している心療内科でテストを受けてみることになり結果が出たが、IQ が非常に低かったと。成育歴(語れば長くなる複雑な家庭環境)から Dr. は家庭環境も影響していると言われたらしいが、本人はもちろん、Dr. も私もそこまで低いとは思わなかった。(むしろパーソナリティの問題か?と思っていた) それを思うと、わからないことをわかったふりをして突っ張ったり、人の考え方を理解できなかったりなど、今までどんなに大変だったか、苦労したことか、生きにくさを感じながらも頑張ってきたのだと思うと、愛おしくも思える。これからも相談相手くらいにはなっていこうと思う。



★ 富山県社会福祉士会会員の状況 ★

会員：489名（2019年11月30日現在）

会を通じて仲間を作り、ともに自己研さんに励みましょう。

○住所・氏名・勤務先の変更について

お名前・ご住所・ご勤務先に変更があった場合は、変更届により

日本社会福祉士会事務局まで郵送またはFAXにてお届けくださいますようお願いします。

お名前・ご転居の変更の場合は送付物が届かなくなりますので必ずお届けください。

尚、富山県社会福祉士会事務局でも隨時対応いたします。



・・・編集後記・・・

鯉おこし98号を発行できました。皆さんには原稿のご協力をお願いし、お忙しい中本当にありがとうございました。令和初めての年が終わります。来年はどんな年になるのでしょうか。自分はまず部屋をきれいにしたい・・いらないものを片づけたい。これは毎年この時期に思っていることです(/ω＼)
この会報はワークハウス連帯さんとの協力で発行しています。いつもありがとうございます。（永野）